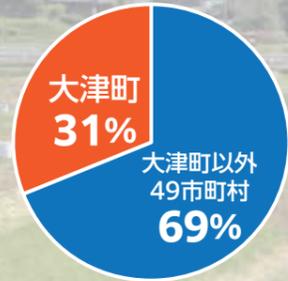


大津町には、私たちが誇ることができる多くの宝があります。それは白川の水が育む田園地帯だったり、阿蘇が展望できるこの風景だったりー。今回は、そんな大津が自慢できる多くの宝を「恵み」をキーワードにご紹介します。大津にはどんな恵みがあるのでしょうか。

大津の農業はココがすごい！

からいも(かんしょ)の作付面積の割合



県内の作付面積

第1位

【出典】2020 農林業センサス (3) 販売目的のいも類・豆類の作物別作付経営体数と作付面積」を加工して使用

令和2年市町村別農業産出額(推計)(町村)



県内の町村で

第2位

【出典】「政府統計の総合窓口(e-Stat)」調査項目を調べる「農林業センサス(農林水産省)」令和2年市町村別農業産出額(推計)」

特集

大津の恵みをいただきます。

大津の農業

一面の黄金色の田園風景。秋の収穫時期に、大津でよく見かける景色です。大津は県内で有数の農業地域。からいもの産地で有名な町ですが、からいも以外にもたくさんの食材が生産されています。私たちの生活に食は欠かせないものです。食材を生産する農業も一つの大津の恵みといえます。まずは大津の農業を知ることから始めてみましょう。

大津町の作付面積は、近隣の市町村などと比べると、とても広いわけはありませんが、県内町村では2番目に多い産出額となります。町の農業が盛んだということが分かります。

町の農産物で多く生産されているものは、もちろん「からいも」。からいもの生産地として有名な大津ですが、実は、野菜や畜産も盛んに行われています。にんじんは県内で2番、ほうれんそう(露地)は県内で1番多く生産されているのです。

生産量の多い野菜などに共通して言えることは、露地栽培が多いということ。大津町は、阿蘇外輪山に連なる山林原野地帯のため、山からの吹きおろしの風が強く、露地栽培に適している。この特徴は、からいもの生産量が多いことにもつながっています。

たっぷりの栄養を含み、冷たい水が流れる矢護川。この水で育った米も大津の自慢の一つです。

大津の誇りの一つである農業。からいもや米など大津の恵みがどのように作られているのか。

大津の生産者の皆さんに詳しく話を聞いてみましょう。

【参考】2020農林業センサス